

**～リサイクルできる紙類編～** (8分4秒～10分10秒)

D先輩の部屋の整理をBが手伝う場面

B：先輩、布団を敷くので、この辺の雑誌片付けてもいいですか？

D：ありがとう、助かる！でもその雑誌はもういらぬから、欲しかったらあげるよ。誰もいらぬかったら捨てようかな。

B：この雑誌は私も持っているので、要らないです。確か明日は燃やすごみの日でしたよね。ついでに捨てておきますね。

(黄色のごみ袋に雑誌をバサッと入れる。)

あ、このダンボールもいらぬければついでに捨てます！

(ダンボールを袋にそのまま突っ込む。)

D：え、ちょっと待って！今捨てた雑誌や段ボールは、「リサイクルできる紙類」になるんだよ！リサイクルせずにごみとして捨てると、ごみはどんどん増えていくんだよ！！

B：リサイクルできる紙類??

**【解説 (ナレーション)】** (8分57秒～9分33秒)

新聞、ダンボール、紙パック、雑がみは、必ず分別し、リサイクルできる紙類として出してください。

出す際は、紙袋やビニール袋に入れる、ひもで縛るなどして、散らばらないようにしてください。

京都市の家庭から排出される燃やすごみの中には、リサイクルできる紙類が含まれていることがあります。

紙類の中にはリサイクルに向かないものもあるので、リサイクルできるかできないかを確認して出すようにしてください。

D：京都市の家庭から排出される燃やすごみの中には、まだまだリサイクルできる紙類が含まれていることがあるけど、みんなで分別ルールを守って、リサイクルに取り組めば、燃やすごみはさらに減らすことができるんだ。京都市のごみの量はピーク時から半分以下になったけど、環境負荷低減のために、まだまだごみの減量、分別・リサイクルが必要なんだ！

B：燃やすごみが減れば、必要なごみ袋を買う回数も減らせるかもしれないですね。